

府中等高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(現代文B) 対象:(第3学年 1組 ~ 7組) 3単位

教科担当者:

使用教科書: (「改訂版 現代文B」数研出版)

使用教材: (大学入試漢字TOP2000 いいずな書店)(現代文単語 いいずな書店)、(新版三訂カラー版 新国語便覧 第一学習社)(共通テスト演習 現代文 いいずな書店)

	指導内容	科目「現代文B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	評論 「未来世代への責任」 岩井克人	文章の論理展開を正確にとらえさせる。 経済学と環境問題の関係に興味を持たせる。 筆者独特のウィットに富んだ表現を理解させる。 生徒自身にも、環境問題や「未来世代への責任」について考えさせる。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」	9
5月	小説 「檸檬」 梶井基次郎	「私」の思考や行動に見られる青春期的特質はどのようなものか理解させる。 自分の中にある心の「不可思議」さと向き合わせる。 「私」がどのようなものを「美しい」と考えているかをつかんだうえで、自分にとっての「美しいもの」とはどのようなものか追及させる。 伝え合う力を伸ばすため、ディスカッションや発表を取り入れ、考えを深め表現させる。 中間考査	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」 定期考査 得点	9
6月	評論 「いのちのかたち」 西谷修 小説 「枯野抄」 芥川龍之介	文章全体を論理的・構造的に把握できるようにさせる。 「生命」や「身体」と「いのち」や「からだ」という語の違いを押さえさせる。 小説の舞台設定や場面設定、人物描写や心理描写など、短編小説を構成する表現上の特色について学ばせる。 タイトルの意義に注目させ、「枯野」とは何か、「夢」とは何かといったことを考えさせる。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」	12
7月	期末考査 小説 「幼なじみたち」 遠藤周作 夏季休業	身辺雑記風の私小説が「小説」としていかに構成されているかを理解させ、主題との関りを考えさせる。 生きることの多様な意味や価値を描いた小説を通して、自分の人生に対する見方や考え方を学ばせる。	定期考査得点 「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」	6
8月	夏季休業			
9月	評論 「身体の個性」 浜田寿美男	文章全体の論理構成を把握し、筆者の主張を理解させる。 具体例によって示される事柄が、どのような抽象概念を説明しているのかを把握する。 筆者の論の根幹をなす「身体」という概念を理解させる。 筆者の主張する「本源的自己中心性」という概念を理解させ、それがもたらす弊害について理解させる。 伝え合う力を伸ばすため、ディスカッションや発表を取り入れ、考えを深め表現させる。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」	12
10月	・入試問題演習 ・入試漢字 中間考査 ・入試問題演習 ・入試漢字	入試に向け、共通テスト対策や記述などの問題演習を行う。 総合的な言語能力を育成する。 入試漢字に強くなる。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」「単語テスト」 定期考査 得点	12
11月	評論「『である』ことと『する』こと」 ・入試問題演習 ・入試漢字	キーワードを手掛かりに、段落ごとの内容を理解する。 様々な比喻表現が何を示しているかを理解させ、筆者の考える真の民主主義について考えさせる。 筆者が抱えている懸念が、決して前時代的なものではないことを理解させ、現代の社会について考える力を養う。 傍点による筆者の強調したい箇所を丁寧に追い、正確な文章理解を促す。 入試に向け、共通テスト対策や記述などの問題演習を行う。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」	12
12月	期末考査 ・入試問題演習 ・入試漢字 終業式	入試対策の論理的な文章問題を解き、実力を高める。 入試対策の文学的文章問題を解き、実力を高める。	定期考査得点 「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」	6
1月	・入試問題演習	・入試対策の論理的な文章問題を解き、実力を高める。 ・入試対策の文学的文章問題を解き、実力を高める。	「興味・関心」 「意欲・態度」 「技能・表現」 「ワークシート」「漢字小テスト」	9
2月				
3月		卒業式予行・卒業式 修了式		

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科：国語 科目：必修選択現代文B 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 必修選択現代文B①～③

教科担当者：

使用教科書：（「リテラ速読レッスン」 文英堂）

使用教材：（「私大マーク対応現代文過去問題集」（桐原書店）

	指導内容	「必修選択現代文B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	評論を中心とした現代文問題演習	始業式 ・ 評論文読解に必要な現代用語の知識を増やす。 ・ 評論文の二項対立構造に着目して読む。 ・ 評論文理解のために必要な人文科学の基礎的見地を理解する。 ・ 評論文理解のために必要な人文科学の共通理解を理解する。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
5月	評論を中心とした現代文問題演習	・ 評論をキーワードやキーセンテンスを理解して読み取る。 ・ 評論文の二項対立構造を、筆者の主張に結び付ける。 ・ 評論文の問題の解き方の基本を知る。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
6月	評論を中心とした現代文問題演習	・ 評論を文章の展開に即して的確に読み取る。 ・ 評論において、筆者が対比して論じている内容を読み取る。 ・ 小説の登場人物の表情や比喩表現を押さえて心情を把握する。 ・ 現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
7月	評論を中心とした現代文問題演習	期末考査 ・ 大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 終業式	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
8月				
9月	評論を中心とした現代文問題演習	・ 大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 ・ 現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
10月	評論を中心とした現代文問題演習	・ 大学入試レベルの問題を客観的に解くことができる。 ・ 現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。 中間考査	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
11月	評論を中心とした現代文大学入試問題演習	・ 大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 ・ 現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	8
12月	評論を中心とした現代文大学入試問題演習	期末考査 ・ 大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 終業式	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	4
1月	評論を中心とした現代文大学入試問題演習	・ 大学入試レベルの問題を客観的に、指定時間内に解くことができる。 ・ 現代文読解に必要な現代用語の知識を増やす。	「興味・関心」「意欲・態度」「技能・表現」 「ワークシート」提出物、授業態度、定期考査を総合的に鑑みて判断する。	6
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(必修選択古典B(4単位)) 対象:(第3学年必修選択者) 4単位

教科担当者:

使用教科書:(精選古典B 古文編、漢文編 教育出版)

使用教材:(ステップアップノート30古典文法トレーニング 河合出版・古文単語330 いいずな書店・読み解く古典③ 浜島書店・完全マスター古典文法 第一学習社・新国語便覧 第一学習社  
・共通テスト国語対策問題集 桐原書店・漢文必修四訂版 桐原書店・漢文必修四訂版チェックノート 桐原書店)

	指導内容	科目「必修選択古典B(4単位)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月		始業式		12
	・読み解く古典③ ・『枕草子』 「宮に初めて参りたる頃」	・様々な古文や漢文にあたり、解釈の方法を身につける。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	
		・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
5月	・読み解く古典③ ・『捜神記』 「禿鬼」	・重要な古語の意味や助詞・助動詞の用法を踏まえ、文章を正確に現代語訳する。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	
		・様々な古文や漢文にあたり、解釈の方法を身につける。		
		・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
		・重要な古語の意味や助詞・助動詞の用法を踏まえ、文章を正確に現代語訳する。		
6月	・読み解く古典③ ・『大鏡』 「花山天皇の出家」	・漢文を読んで全体を把握する必要性を理解する。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	
		・中国の思想家の人となりや考え方を理解する。		
		・歴史物語について文学史における位置づけを理解する。		
7月	・読み解く古典③ ・『後撰書』 「糟糠の妻」	・敬語の種類・意味を理解し、読み取れるように復習する。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	
		・敬意の方向(誰から誰への敬意か)を理解できるように復習する。		
		・花山天皇の出家の真相を理解する。		
8月	・読み解く古文② ステップアップノート	・話の構成や展開を正確に読み取り、登場人物の人間像を的確に捉える。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	
		・漢文を読んで全体を把握する必要性を理解する。		
9月	・『源氏物語』 「藤壺の宮の内内」 ・読み解く古典③ ・ステップアップノート	・漢文を読んで全体を把握する必要性を理解する。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	
		・『源氏物語』を読み味わい、理解・親しみを深める。		
		・登場人物の設定や時代背景、物語における藤壺の宮の位置づけを理解する。		
		・重要な古語の意味や助詞・助動詞・敬語の用法に習熟し、文脈の正確な読解力を養う。		
10月	・共通テスト対策 ・私大入試対策	・敬語の種類・意味を理解し、読み取れるように復習する。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	
		・敬意の方向(誰から誰への敬意か)を理解できるように復習する。		
		・大学入学共通テストの対策問題に取り組み、出題の形式に慣れるとともに実践的な力を身につける。		
11月	・共通テスト対策 ・私大入試対策	・私大入試の過去問題にあたり、問題演習を通して、早く正確に読解できる力と設問に的確に答える力を養う。	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	
		・私大入試の過去問題にあたり、問題演習を通して、早く正確に読解できる力と設問に的確に答える力を養う。		
		・大学入学共通テストの対策問題に取り組み、出題の形式に慣れるとともに実践的な力を身につける。		
12月	・共通テスト対策 ・私大入試対策	・期末考査	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」 「定期テスト」	
		・入試に向けて、弱点を補強しつつ、実践力を向上させる。		
1月	・共通テスト対策 ・私大入試対策	・終業式		
		・入試に向けて、弱点を補強しつつ、実践力を向上させる。		
2月				
3月		卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(国語) 科目:(必修選択古典B(2単位)) 対象:(第3学年必修選択者)

教科担当者:

使用教科書:(古典B 改訂版 古文編 漢文編 大修館書店)

使用教材:(ステップアップノート30古典文法基礎ドリル 河合出版・古文単語315 桐原書店・解ける古典(古文+漢文) 浜島書店・詳説古典文法 筑摩書房・精選漢文 尚文出版・共通テスト対策実力養成 重要問題演習 古典 Learn-S ・新国語便覧 第一学習社)

指導内容	科目「必修選択古典B(2単位)」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	始業式	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	6
	・『源氏物語』 「若菜 垣間見」 ・ステップアップノート		
	・様々な文章にあたり、解釈の方法を身につける。 ・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。 ・重要古語の意味や助詞・助動詞の用法を踏まえ、文章を正確に現代語訳する。		
5月	・『源氏物語』 「若菜 若草と露」 ・ステップアップノート	「知識・理解」 「ワークシート」 「定期テスト」	6
	・様々な文章にあたり、解釈の方法を身につける。		
	・基本的な古典の知識を身につけ、知識を実際に利用できる力を養う。		
	・重要古語の意味や助詞・助動詞の用法を踏まえ、文章を正確に現代語訳する。 ・和歌に描き出される登場人物の心情を読み取り、物語の展開を的確に捉える。		
6月	・『大鏡』 「肝だめし」 ・ステップアップノート	「知識・理解」 「ワークシート」	10
	・『大鏡』を読み味わい、理解・親しみを深める。		
	・敬語の種類・意味・敬意の方向を理解して文章を読み解く。 ・重要古語の意味や助詞・助動詞・敬語の用法に習熟し、文脈の正確な読解力を養う。		
	・登場人物の心情を読み取り、物語の展開を的確に捉える。		
7月	期末考査	「知識・理解」 「ワークシート」 「定期テスト」	4
	・解ける古典(古文+漢文) ・ステップアップノート		
8月			
9月	始業式	「知識・理解」 「ワークシート」 「小テスト」	6
	・大学入学共通テストの対策問題に取り組み、出題の形式に慣れるとともに実践的な力を身につける。 ・私大入試の過去問題にあたり、問題演習を通して、早く正確に読解できる力と設問に的確に答える力を養う。		
10月	・大学入学共通テストの対策問題に取り組み、出題の形式に慣れるとともに実践的な力を身につける。 ・私大入試の過去問題にあたり、問題演習を通して、早く正確に読解できる力と設問に的確に答える力を養う。	「知識・理解」 「ワークシート」 「定期テスト」	8
	中間考査		
11月	・大学入学共通テストの対策問題に取り組み、出題の形式に慣れるとともに実践的な力を身につける。 ・私大入試の過去問題にあたり、問題演習を通して、早く正確に読解できる力と設問に的確に答える力を養う。	「知識・理解」 「ワークシート」	8
12月	期末考査	「知識・理解」 「ワークシート」 「定期テスト」	6
	・入試に向けて、弱点を補強しつつ、実践力を向上させる。		
	終業式		
1月	始業式		2
	・入試に向けて、弱点を補強しつつ、実践力を向上させる。		
2月			
3月	卒業式予行・卒業式		
	修了式		

都立府中高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～7組

教科担当者：

使用教科書：『高校現代社会 新訂版』（実教出版）

使用教材：『最新政治経済資料集2023』（第一学習社）

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第2編 第1章 青年期と自己掲載 人間とは何か 青年期と自己形成の課題 職業生活と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期の成立および解釈を通して、現代社会における青年期の意義を理解する。</li> <li>実体験を通し、青年期における心理的な変化を考え、青年期における課題の重要性について理解する。</li> <li>青年期における自己形成の過程を理解し、哲学者の視点を通して「自分らしさ」について考える。</li> </ul>	授業への取組み 定期考査 提出物	3
	第2編 第2章 他者と共生する倫理 ギリシャの思想 人間の自由 個人と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想の共通点と相違点を考えることを通し、ギリシャ哲学が重視する点とそれぞれの思想を特徴を理解する。</li> </ul>		1
5月	第2編 第2章 他者と共生する倫理 ギリシャの思想 人間の自由 個人と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想の共通点と相違点を考えることを通し、ギリシャ哲学が重視する点とそれぞれの思想を特徴を理解する。</li> <li>ドイツ観念論の思想を通し、多様な「自由」の定義について考察する。</li> <li>社会における「善」のあり方を考えると共に、現代社会の社会制度の背景となる思想を理解する。</li> </ul>	授業への取組み 定期考査 提出物	4
	中間考査、解説			2
6月	第2編 第3章 現代の国家と民主政治 人権保障の発展と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>民主政治の誕生の歴史を通して、人権の意義や国家のあり方について考える。</li> <li>社会契約説の思想を理解し、現代の政治制度とのつながりについて考える。</li> <li>歴史的な文書を通し、人権の発展について考え、現代における国際化した人権の課題について考える。</li> </ul>	授業への取組み 定期考査 提出物	3
	第2編 第4章 日本国憲法と国民生活 基本的人権の保障 人権の広がり 選挙と政党	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的人権の保障について、判例や事例を通して理解する。</li> <li>「新しい人権」をめぐる議論について考える。</li> <li>日本の選挙の仕組みと課題、その課題が生まれた背景について理解する。</li> </ul>		5

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	期末考査、解説		授業への取組み 定期考査 提出物	2
	第2編 第4章 日本国憲法と国民生活 政治参加と世論	・国民の政治参加の重要性とマス・メディアの役割について理解する。		2
8月	夏期講習			
9月	第2編 第4章 日本国憲法と国民生活 平和主義と日本の安全	・9条の解釈をめぐる議論を通して、日本の平和主義について考える。 ・自衛隊のあり方について、過去の事例を通して考える。	授業への取組み 定期考査 提出物	3
	第2編 第6章 現代の経済社会と政府の役割 経済社会の形成と変容	・経済理論の変遷を通し、現代社会における経済の仕組みとその中での政府の役割の変化について考える。		2
10月	第2編 第6章 現代の経済社会と政府の役割 市場のしくみ 現代の企業 経済成長と景気変動	・市場における価格決定の仕組みと市場の失敗の事例を理解する。 ・現代の企業のあり方を考えた上で、投資の役割について考える。 ・経済成長と景気変動の仕組みの理解し、現在の日本の経済について考える。	授業への取組み 定期考査 提出物	4
	中間考査、解説			2
	第2編 第6章 現代の経済社会と政府の役割 政府の役割と財政・租税	・財政が持つ機能と目的を理解した上で、現在、政府が行っている政策の意味について考える。		2

	指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	第2編 第6章 現代の経済社会と政府の役割 政府の役割と財政・租税 金融機関の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政が持つ機能と目的を理解した上で、現在、政府が行っている政策の意味について考える。</li> <li>・金融機関の役割を理解した上で、日本銀行が行う金融政策の意味を考える。</li> </ul>	授業への取組み 定期考査 提出物	4
	第2編 第7章 経済活動のあり方と国民福祉 社会保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障の意義と仕組みについて理解する。</li> <li>・日本が抱える社会保障制度の課題について理解し、今後のあり方について考える。</li> </ul>		4
12月	期末考査、解説		授業への取組み 定期考査 提出物	2
	第1編 第1章 地球環境を考える 資源・エネルギー・人口問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本および国際社会が抱える課題について、その解決方法を主体的に考える。</li> </ul>		2
1月				
2月				

指導内容	現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科: 地歴 科目: 日本史B 対象: 第3学年1組 ~ 7組 必修選択 6単位

教科担当者:

使用教材: 詳説日本史図録 山川出版社 日本史B一問一答 東進ブックス

指導内容	科目「日本史B」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数	
4月	始業式・入学式・オリエンテーション			
	織豊政権	ヨーロッパ人の来航と、その背景となった大航海時代について理解させる。織田信長の統一事業について、その過程をとらえさせるとともに新たな政権樹立をめざした諸政策にも注目させる。豊臣秀吉の天下統一の過程を理解させる。豊臣政権の政治的特色や経済的基盤をとらえさせる。またその外交政策を通して、豊臣政権が短命に終わった理由を考えさせる。	【知】【思】	6
	桃山文化	桃山文化について、城郭建築や茶道の大成を軸とし、資料や図版をもとに理解させる。	【知】【関】	1
5月	幕藩体制の成立	徳川家康による幕府創設の過程をとらえさせる。幕藩体制について、その機構、経済基盤、宗教政策等を多面的に理解させる。江戸初期の外交について理解させ、なぜ鎖国に至ったのかを考えさせる。鎖国後の貿易、キリシタン禁制について理解させる。寛永期の文化について、資料や図版をもとにその特徴を理解させる。	【知】【思】	8
	幕藩社会の構造	幕藩社会を支えた身分制度をとらえ、江戸時代の社会の特徴を考えさせる。江戸時代の農村の生活を、村請制度や租税負担のしくみを通してとらえさせる。	【知】【思】	2
	幕政の安定	4代将軍家綱の治世に、文治政治から武断政治への転換がはかられたことを理解させ、その理由を考えさせる。元禄時代から正徳の治に至る文治政治の諸政策を、その背景とともに理解させる。	【知】【思】	5
	経済の発展	近世の経済発展について、当時の人々の生活に考えを致しながら、農業生産の進展、諸産業の発達、交通の発達、貨幣経済の発達などを多面的に理解させる。	【知】【関】	4
	元禄文化	元禄文化について、儒学をはじめとする学問の発展と、町人文芸の隆盛等の町人文化の発展を軸に、資料や図版を通して理解させる。	【知】【関】	2
	幕政の改革	享保の改革の諸政策と、その成果をとらえさせる。江戸中期の社会の変容と、これを背景として起こった一揆と打ちこわしを理解させる。田沼時代の諸政策について、その特徴を理解させる。	【知】【思】	5
6月	宝暦・天明期の文化	宝暦・天明期の文化について、浮世絵の隆盛などの町人文化に着目させ、資料や図版を活用して理解させる。	【知】【関】	2
	幕府の衰退と近代への道	寛政の改革の諸政策について、その背景を考えさせながら理解させる。異国船の接近と鎖国政策の動揺の過程をとらえさせる。文化文政時代の社会の変化をとらえさせ、天保の改革と結びつけて理解させる。江戸後期の経済の変化と、雄藩の台頭について理解させる。	【知】【関】	8
	化政文化	化政文化について、学問と教育、民衆文化の成熟を軸に、資料や図版を活用して理解させる。	【知】【関】	2
	開国と幕末の動乱	ペリー来航の意義を、その国際的背景をふまえて考えさせる。開国とその影響をとらえさせ、続いておこった尊王攘夷運動、討幕運動から明治維新に至る過程を理解させる。	【知】【思】	7
7月	期末考査			
	明治維新と富国強兵	新政府の成立過程を、戊辰戦争の経過とともにとらえさせる。廃藩置縣による中央集権化の達成、四民平等政策、地租改正と殖産工業政策について理解させる。文明開化の文化と世相を、資料・図版を活用して理解させる。明治初期の対外関係と、その結果として政府の分裂し、士族反乱が西南戦争へとつながった経過をとらえさせる。	【知】【思】	6
	立憲国家の成立と日清戦争	自由民権運動について、背景を考えつつその経過を理解させる。憲法制定による立憲国家のしくみをとらえさせる。初期議会の対立についてその経過を理解させる。条約改正の経過を理解させる。朝鮮問題から日清戦争、下関条約と三国干渉について理解させるとともに、その背景となった当時の国際関係を考えさせる。	【知】【関】	6
9月	終業式			
	日露戦争と国際関係	日清戦争後の政局について理解させる。日露戦争の背景となった中国分割と、日英同盟に至った外交の経過をとらえさせる。日露戦争の経過と、戦後の国際関係(韓国併合と満州への進出)を関連させながら理解させる。日露戦争後の社会の変化について考えさせる。	【知】【思】	4
	近代産業の発展	日本の産業革命が、繊維産業をはじめとする軽工業に始まり、やがて重工業の形成へと発展した経過を理解させる。産業革命による社会の変化に着目させ、社会運動の発生とその影響をとらえさせる。	【知】【関】	4
	近代文化の発達	明治の文化について、思想と信教、教育、科学、ジャーナリズムと文学、芸術の各分野を、資料と図版を活用して理解させる。生活様式の近代化について理解させる。	【知】【関】	4
	第一次世界大戦と日本	第一次護憲運動と大正政変の経過を理解させる。第一次世界大戦の背景となった国際情勢を理解し、日本の参戦の意義を考えさせる。二十一条要求により日本の中国進出が始まったことを、中国情勢を背景として理解させる。大戦景気を背景として、米騒動から原敬内閣の登場にいたった経過をとらえさせる。	【知】【思】	4
10月	ワシントン体制	第一次世界大戦後のヴェルサイユ体制・ワシントン体制について理解し、そこに占めた日本の地位について考えさせる。大正デモクラシーの世相を背景に社会運動・普選運動が勃興したことを理解させる。第二次護憲運動から護憲三派内閣成立にいたる経過を理解させる。	【知】【関】	3
	市民生活の変容と大衆文化	第一次世界大戦後、都市化が進む中で生まれた新たな大衆文化について、資料と図版を活用して理解させる。	【知】【関】	3
	恐慌の時代	戦後恐慌に始まる経済危機を背景として、「憲政の常道」といわれた二大政党時代の外交政策、財政政策に着目しつつ、協調外交が挫折し戦争への道が開かれていったことを考えさせる。	【知】【思】	5
	軍部の台頭	中国情勢の変化を背景として、軍部の独走によって満州事変が引き起こされ、戦争の時代に入ったことを考えさせる。あいづぐテロリズムにより政党政治が崩壊し、国際連盟脱退により日本が孤立の道を選んだことをとらえさせる。二・二六事件によって軍国主義が確立されたことを理解させる。	【知】【思】	4
11月	第二次世界大戦	日中戦争の開始と長期化が、太平洋戦争へとつながった経過を、当時の国際情勢を背景として理解させる。戦時下の思想統制と経済統制をとらえさせ、当時の人々の生活について考えさせる。第二次世界大戦の経過をたどり、日本の敗戦までの展開を、戦争の惨禍に思いを致しながら理解させる。	【知】【関】	6
	占領と改革	第二次世界大戦後の国際情勢を背景に、初期の占領政策について、非軍事化と民主化の諸政策を理解させる。政党政治の復活と日本国憲法の制定の経過をとらえさせる。敗戦直後の国民生活と政治の混乱について考えさせる。	【知】【関】	5
	冷戦の開始と講和	冷戦の開始とアジア情勢の変化を理解させ、なぜアメリカの占領政策が転換したのかを考えさせる。朝鮮戦争が日本に及ぼした政治的・経済的影響をとらえさせる。サンフランシスコ平和条約と日米安保条約について、史料を読み解きつつ理解させる。	【知】【思】	4
	55年体制	冷戦下の国際情勢を背景に、独立後から55年体制の成立にいたる政局の変化をとらえさせる。日ソ国交樹立と国際連合加盟、安保条約改定までの外交政策について理解させる。新安保条約の内容をとらえ、安保闘争がなぜおこったのかを考えさせる。	【知】【思】	4
	経済復興から高度成長へ	朝鮮特需による経済復興から、高度経済成長にいたった日本経済の変化を理解させる。高度経済成長による大衆消費社会の誕生と、そのひずみである公害問題などについて、多面的にとらえさせる。	【知】【関】	4
12月	経済大国への道	石油危機後も安定成長を続け、経済大国となった日本のあゆみを、日中国交正常化などの外交の動きと関連させながら理解させる。中曽根内閣時代の新しい自由主義的改革が、現代日本の政治につながっていることを考えさせる。	【知】【思】	3
	期末考査			
	冷戦の終結と日本社会の動揺	冷戦終結の経過を理解し、冷戦終結によっておこった東欧革命や湾岸戦争の意味を考えさせる。55年体制の崩壊とその後の政局をたどり、バブル崩壊後の平成不況について理解させる。大災害への対応や環境問題、情報社会の課題、防衛問題等、現代日本の諸課題を提起する。	【知】【思】	5
1月	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	5
	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	8
2月	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	8
	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	8
3月	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	8
	演習	通史・テーマ史について、問題演習を行う。	【知】	8

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科： 地歴 科 目： 世界史B 単位数： 6単位  
 対象学年組： 第3学年1組～7組(必修選択)  
 教科担当者：  
 使用教科書： ( 詳説 世界史B 山川出版社 )  
 使用教材： ( 歴史風景館 世界史のミュージアム とうほう )

	指導内容	科目世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	アジア諸地域の繁栄	ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の歴史について理解させる。	【知】【関】	10
	大航海時代	ヨーロッパ人のアジア・新大陸進出と、世界の一体化の影響について理解させる。	【知】【技】	2
	ルネサンス	ルネサンスの思想や、芸術作品について理解させる。	【知】【技】	2
5月	宗教改革	ルターやカルヴァンの思想や、その影響について理解させる。	【知】【思】	2
	主権国家体制の形成	主権国家体制の形成や、スペインの歴史について理解させる。	【知】【関】	4
	重商主義と啓蒙専制主義	イギリスの革命や、フランス絶対王政について理解させる。	【知】【関】	3
	中間考査			1
	重商主義と啓蒙専制主義	プロイセン、オーストリア、ロシアの歴史について理解させる。	【知】【思】	5
6月	ヨーロッパ諸国の海外進出、17～18世紀のヨーロッパ文化と社会	ヨーロッパ諸国のアジア・新大陸への進出や争いや、その影響について理解させる。	【知】【技】	4
	産業革命、アメリカ独立	イギリス産業革命の歴史や、アメリカ独立革命の歴史について理解させる。	【知】【思】	5
	フランス革命	フランス革命の背景、経緯、影響について理解させる。	【知】【技】	4
	ナポレオン	ナポレオンの歴史を通じて革命の精神が広まったことや、ナポレオンの征服活動と失敗について理解させる。	【知】【関】	2
7月	近代国民国家の発展	ウィーン体制、七月革命の歴史を通じ、自由主義や社会主義の高揚について理解させる。	【知】【思】	7
	期末考査			1
	ヨーロッパの再編	二月革命を中心とする1848年の諸革命を通じ、国民主義や民族主義について理解させる。	【知】【関】	7
8月	南北アメリカの発展	アメリカ合衆国の拡大や南北戦争に至る南北の対立について理解させる。	【知】【思】	3
9月	19世紀のヨーロッパ文化、社会	19世紀の欧米の思想、文化について理解させる。	【知】【関】	1
	アジア諸地域の動揺 西アジア・南アジア	オスマン帝国やムガル帝国の衰退や植民地化について理解させる。	【知】【技】	4
	アジア諸地域の動揺 東アジア	清など東アジア世界で起こった衰退や植民地化について理解させる。	【知】【思】	4
	帝国主義 ①欧米諸国	帝国主義とはなにか、欧米諸国のアジア・アフリカ・太平洋への進出について理解させる。	【知】【関】	5
	帝国主義 ②世界分割	欧米諸国によって進むアジア・アフリカ・太平洋地域の分割について理解させる。	【知】【思】	2
	帝国主義 ③列強対立	世界分割によって生まれた列強の対立が、世界大戦に影響を与えるまでを理解させる。	【知】【関】	2
10月	二つの世界大戦 第一次大戦とロシア革命	第一次世界大戦の歴史と、初の社会主義革命の勃発について理解させる。	【知】【技】	3
	戦間期 ①ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	ヴェルサイユ体制の成立や戦間期の諸国の政策について理解させる。	【知】【思】	5
	中間考査			1
11月	戦間期 ②民族運動、世界恐慌・ファシズム	大戦後のアジア各国の民族・独立運動や世界恐慌と世界に与えた影響の歴史について理解させる。	【知】【技】	6
	第二次世界大戦	第二次世界大戦の勃発と経過について理解させる。	【知】【関】	4
	戦後世界 ①国際連合と冷戦体制	国際連合の成立と、米ソ冷戦の開始について理解させる。	【知】【技】	6
	②第三世界の台頭と平和共存、冷戦の終結	20世紀半ばの第三世界の台頭と冷戦への影響、またソ連崩壊後の世界について理解させる。	【知】【思】	6
12月	期末考査			1
	総復習	大学受験を想定した問題演習を行い、学力を高める。	【知】【技】	14
1月	総復習	大学受験を想定した問題演習を行い、学力を高める。	【知】【思】	4
2月				
3月				

府中高等学校 令和5年度 教科 公民 科目 政治経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：4単位

対象学年組：第3学年選択クラス

教科担当者：

使用教科書：『高校政治経済 新訂版』（実教出版）

使用教材：『最新政治・経済資料集2023』（第一学習社）

	指導内容	科目政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	世界の政治制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議院内閣制と大統領制の比較をすることができる。</li> <li>・世界の政治体制の特徴を理解する。</li> </ul>	定期考査 提出課題 観察	2
	大日本帝国憲法と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法の成立とその特徴について理解する。</li> <li>・日本国憲法の成立とその特徴について理解する。</li> </ul>		4
	国民主権と議会制民主主義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権の意義と議会制民主主義の特徴を理解できる。</li> <li>・日本の国会の特徴と課題からよりよい立法府の在り方について考えることができる。</li> </ul>		2
5 月	内閣と行政の民主化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の議院内閣制の特徴を理解できる。</li> <li>・近年の行政改革の長所と短所を踏まえ、行政府が抱える課題について考えることができる。</li> </ul>	定期考査 提出課題 観察	2
	中間考査・解説			4
	裁判所と人権保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の司法制度の特徴を理解できる。</li> <li>・司法権の独立が掲げられる意義を判例などから読み取ることができる。</li> </ul>		2
	地方自治と住民の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治の本旨に基づいた地方自治の理念について理解できる。</li> <li>・日本の地方行政が抱える課題について考え、自分なりの考えを持つことができる。</li> </ul>		2
6 月	国家主権と国際法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権（対外的主権）の意味を理解できる。</li> <li>・国際法の歴史と現代社会における役割を理解できる。</li> </ul>	定期考査 提出課題 観察	2
	国際連合の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連盟と比較した国際連合の機能を理解できる。</li> <li>・現在の国際連合が抱える課題について理解できる。</li> </ul>		2
	核兵器の廃絶と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核軍拡、核軍縮の歴史と課題を理解できる。</li> <li>・NGOなどが国際平和への取り組みに貢献していることを踏まえ、自分ができることを考える。</li> </ul>		2
	地域紛争と南北問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各地で起きている地域紛争の背景が多様であることを理解できる。</li> <li>・紛争の背景にある人種・民族問題や経済格差があることを理解できる。</li> </ul>		2
	国際社会の中での日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の国際協力の方針を理解できる。</li> <li>・国際社会の中で日本がどのような役割を果たしていくべきかを考えることができる。</li> </ul>		2

	指導内容	科目政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	期末考査・解説		定期考査 提出課題 観察	4
	問題演習			
8月				
9月	日本経済の発展と産業構造の変化	・戦後の日本経済の変化と産業構造の変化について理解する。		4
	貿易と国際収支	・国際貿易に関する理論を理解し、国際取引の仕組みを図などから読み取ることができる。 ・国際収支の体系を理解し、資料を読み取ることができる。		2
	国際経済体制の展開	・国際経済体制の展開にある政治的な背景を理解できる。		2
	発展途上国の経済	・南北問題、南南問題などの経済格差について理解できる。 ・発展途上国の中で成長を遂げた国の要因と現状について理解できる。		2
10月	地域主義の動き	・EUをはじめとした地域統合の種類と変遷について理解できる。 ・地域統合のメリットとデメリットを説明することができる。		2
	グローバル化する世界経済	・世界経済のつながりと格差の拡大について理解できる。 ・国、地域ごとの特徴を資料から読み取ることができる。		2
	中間考査・解説			4
	公害と環境保全	・日本の公害の歴史と対策を理解できる。 ・世界の環境保全への取り組みの変遷を理解できる。		4

	指導内容	科目政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	消費者問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者の権利の在り方を理解できる。</li> <li>・日本の政策が保護から自立へと変化していったことを説明できる。</li> </ul>		2
	農業・食料問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の農業行政の変遷を理解できる。</li> <li>・日本の農業の新しい取り組みを説明できる。</li> </ul>		4
	中小企業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本経済における中小企業の役割を理解できる。</li> </ul>		2
	雇用と労働問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の労働権の歴史を理解できる。</li> <li>・現代社会における労働問題について対策を考えることができる。</li> </ul>		4
	社会保障と福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の社会保障の現状と課題について理解できる。</li> </ul>		2
12 月	期末考査・解説			4
	問題演習			
1 月				
2 月				

指導内容	科目政治経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

# 府中高校 令和5年度 数学Ⅲ 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学Ⅲ) 対象:(第3学年選択者) 8単位

教科担当者:

使用教科書:改訂版 数学Ⅲ 数研出版

使用教材:クリアー 数学Ⅲ 数研出版

	指導内容	科目「数学Ⅲ」の具体的な指導目標	評価の観点方法	予定時数
4月	(1)指導方法の説明 (2)関数 (3)極限	(1)指導方法の説明 しっかりと説明を聞き、自主的に問題に取り組むこと。 (2)簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解する。 合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求める。 (3)数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	22
5月	(1)極限 (2)式と曲線	(1)数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (2)平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	24
6月	(1)微分法	(1)関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。	[知] [見] [技] [関]	28
7月	(1)微分法 (2)微分法の応用	(1)関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求める。 合成関数の導関数について理解し、合成関数の導関数を求める。 三角関数、指数関数及び対数関数の導関数を求める。 (2)導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べグラフの概形をかいたりする。 また、それらを事象の考察に活用する	[知] [見] [技] [関]	14
9月	(1)積分法とその応用	(1)積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	[知] [見] [技] [関]	26
10月	(1)複素数平面 (2)演習	(1)複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (2)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	[知] [見] [技] [関]	24
11月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。	[知] [見] [技] [関]	26
12月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。		14
1月	(1)演習	(1)さまざまなレベルの入試問題を解き、入試に必要な力を養う。		8
2月				
3月				

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:( 数学 ) 科目:( 数学Ⅰ ) 対象: 第 3 学年 必修選択 4単位

教科担当者:

使用教科書:( 数学Ⅰ (数研出版) )

使用教材:( リンク 数学演習Ⅰ+A )

	指導内容	科目「 数学Ⅰ 」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	数と式	(春季休業)	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	10
		整式の基本を整理し、計算力の向上をめざす。		
		乗法公式と因数分解の反復演習を行い、計算力の向上をめざす。		
		平方根、分母の有理化、二重根号の計算の習熟をはかる。		
		無理数の整数部分と小数部分、無理数と有理数に分ける計算力の向上をめざす。		
5月	数と式	対称式・交代式の扱い、絶対値の扱いや場合分けの考え方の習得	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	10
		素数問題、ユークリッド互除法、不定方程式等の問題解決力の向上をめざす。		
	方程式 不等式	1次不等式・2次不等式・連立不等式の解法力の向上をめざす。		
		1学期中間考査		
		絶対値を含む方程式・不等式、3元1次連立方程式の解法力の向上をめざす。		
6月	方程式・不等式 2次関数	他の解の求め方、解を持つ条件の判別方法の習熟をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	16
		平方完成、平行移動、対称移動、放物線の方程式の決定等問題解決力の向上をめざす。		
		定義域制限があるときの最大値・最小値の求値方法の習熟をめざす。		
		2次方程式の解の特性、不等式と2次関数との関係を理解し応用力向上をめざす。		
		2次関数応用演習により問題解決力の向上をめざす。		
7月	三角比	1学期期末考査	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	4
		三角比の求値、式の値、三角方程式の解法力の向上をめざす。		
		正弦定理・余弦定理の活用法の習熟をはかり、三角形の形状、面積、内接円半径、立体図形への応用力向上をめざす。		
		1学期終業式		
		(夏季休業)		
9月	データの分析 集合と論理 順列・組合せ	分散と標準偏差の基本を整理し、計算力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	10
		相関係数を求め、その値から相関関係を判定する方法の習熟をめざす。		
		命題の真偽判定、逆・裏・対偶の述べ方、必要・十分条件に関する演習問題の習熟をめざす。		
		対偶利用証明法、背理法の活用の習熟をめざす。		
		和積法則、隣接するものを含む順列、円順列、重複順列に関する問題解決力の向上をめざす。		
10月	順列・組合せ 確率	同じものを含む順列、一定順序、図形と組合せに関する問題解決力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	16
		最短経路、図形と組合せ、組分けに関する問題解決力の向上をめざす。		
		二項定理、多項定理の応用問題の解法力向上をめざす。		
		2学期中間考査		
		確率 独立な試行の確率、順列組合せの利用、余事象利用、排反事象の加法定理に関する問題解決力の向上をめざす。		
11月	確率 平面図形	反復試行の確率、標準から発展レベルまでの確率問題の解法力の向上をめざす。	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	12
		確率タイプ別問題演習を反復し、計算力向上をめざす。		
		角の二等分線と辺の比に関する問題解決力の向上をめざす。		
		三角形の外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理等に関する問題解決力の向上をめざす。		
12月	平面図形 総合問題演習	2学期期末考査	知識・理解 興味・関心 意欲・態度 定期考査	10
		円と四角形、接線、方べきの定理に関する問題解決力の向上をめざす。		
		タイプ別問題の反復演習を行い、総合問題の解法力向上をめざす。		
		上級学校入試過去問題演習を通して解法力向上をめざす。		
		2学期終業式		
1月	総合問題演習	(冬季休業)	知識・理解 興味・関心 意欲・態度	6
		(冬季休業)		
		上級学校入試過去問題演習を通して解法力向上をめざす。		
		上級学校入試過去問題演習を通して解法力向上をめざす。		
2月				
3月		卒業式予行・卒業式		

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(必修選択数学ⅡB) 対象:(第3学年 1組 ~ 7組) 6単位

教科担当者:

使用教科書:(高等学校 数学ⅠⅡAB□)

使用教材:(キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B[数研出版])

指導内容	科目「数学ⅠⅡAB」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
4月	始業式・入学式・オリエンテーション 恒等式の理解、方程式の解法ができる。 ・ $ax^2+bx+c$ を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 平方完成を利用して2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。・グラフの平行移動が、x軸方向、y軸方向の用語を用いて表現できる。・一般の2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフについて、軸、頂点の式を考察しようとする ・ $y=a(x-p)^2+q$ の形にして、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値が求められる。	[知] [見] [技] [関]	18
5月	2次方程式の理論 方程式・不等式 ・2次方程式の解き方として、因数分解利用、解の公式利用を理解し、利用できる。 ・2次方程式の解の考察において、判別式 $D=b^2-4ac$ の符号と実数解の関係を理解し、利用することができる。 ・関数のグラフとx軸の共有点の座標、x軸の共有点の個数が求められることができる。 不等式を解くことができる。 不等式を利用する応用問題を解くことができる。 中間考査・校外学習	[知] [見] [技]	18
6月	確率 順列・組合せ ・確率の基本事項を理解し、利用できる。 ・独立試行、反復試行、条件付き確率についての理解を深める。 三角比 三角関数 ・三角関数の値を求め、三角関数の性質を知る。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に単位円やグラフを図示して考察する。 ・図形の性質と三角比を利用して、応用問題を解く。	[知] [見] [技] [関]	24
7月	期末考査 ベクトル ベクトルの基本 平面ベクトル ・ベクトルの基本事項を周知し、利用できるようにする。 ・位置ベクトルの理解を深め、平面においてベクトルの利用ができる。 終業式	[知] [見] [技] [関]	12
9月	ベクトル 平面ベクトル 空間ベクトル ・平面において、ベクトルを利用し様々な値を求める。 ・空間において、ベクトルを利用し様々な値を求める。 三角関数 三角関数 ・三角関数の値を求め、三角関数の性質を知る。 ・三角関数を含む方程式・不等式を解く際に単位円やグラフを図示して考察する。 指数関数、対数関数 ・指数関数、対数関数の値を求め、性質を理解する。 微分法・積分法 接線増減表、最大最小 ・接線の方程式を求める。 ・導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかき、関数の最大値・最小値を求めることができる。	[知] [見] [技] [関]	24
10月	不定積分、定積分の意味を理解し、それを利用する。 微分法・積分法 微積分の応用 ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。 ・微分法、積分法を利用して種々の問題の応用法を学ぶ 中間考査 数列 等差・等比 ・等差、等比数列の一般項を理解し利用できる。	[知] [見] [技] [関]	24
11月	数列 いろいろな数列 漸化式 ・記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められるようにする。 ・階差・フィボナッチ数列を理解し、一般項が求められるようにする。 ・数列の和 $S_n$ と第 $n$ 項 $a_n$ の関係を理解し、数列の一般項が求められるようにする。 ・漸化式の意味を理解し、漸化式を適切に変形して、その数列の特徴を考察することができるようにする。 ・数列の入試問題演習。 入試問題演習 ・センター試験の演習。 ・数学ⅠⅡABの総合問題演習。	[知] [見] [技] [関]	24
12月	期末考査 入試問題演習 ・センター試験の演習。 ・数学ⅠⅡABの総合問題演習。 終業式	[知] [技]	12
1月	入試問題演習 ・センター試験の演習。 ・数学ⅠⅡABの総合演習。 ・私大、2次対策問題演習。	[知] [技]	8
2月	授業なし		
3月	卒業式予行・卒業式 授業なし		

都立府中高等学校 令和5年度 教科理科科目物理基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：

使用教科書：（改訂版物理基礎 数研出版）

使用教材：（四訂版 リードα 物理基礎・物理 数研出版）

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	剛体のつりあい	力のモーメント 剛体のつりあい 偶力 重心	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	5
5 月	剛体のつりあい  物体の運動	剛体の傾きと転倒  速度 加速度 相対速度 速度の合成 重力による運動 (発展として平面の運動を含む)	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	7
6 月	波の性質  音	波の伝わり方 波の干渉 反射・屈折・回折 (発展として平面的に広がる波を含む)  音の性質 (発展として平面的に広がる音を含む)	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	7

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	音	ドップラー効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	5
8月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	
9月	電流と磁場	オームの法則 抵抗の接続 半導体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	6
10月	電流と磁場	キルヒホッフの法則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	8

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	交流回路	交流の発生 交流回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	8
12月	交流回路	RLC直列回路 共振回路 振動電流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	5
1月	エネルギー資源	エネルギー資源 原子力と原子力発電 放射線 原子炉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	6
2月	物理学が築く未来	スポーツと物理学 防災と物理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	8

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	物理学が築く未来	自動車と物理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	6

都立府中高等学校 令和5年度 教科理科科目物理 年間授業計画

教科：理科 科目：物理 単位数：4単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：

使用教科書：（改訂版総合物理 1力と運動・熱，2波・電気と磁気・原子 数研出版）

使用教材：（四訂版リードα物理基礎・物理 数研出版、大学入学共通テスト対策チェック&演習物理 数研出版）

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	等速円運動  慣性力  単振動	角速度 向心加速度 向心力  慣性力 遠心力  単振動に必要な力 ばね振り子 単振動	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	10
5月	万有引力  運動力と力積	万有引力 重力 宇宙速度  運動量 力積 運動量と力積 運動量保存の法則	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	14
6月	熱と物質  気体のエネルギーと状態変化  光	熱量 比熱 熱量の保存  気体の法則 気体の分子運動 気体の状態変化  光の速さ	・ 考査  ・ 提出物 ・ 授業態度	14

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	光	光の分散 光の回折と干渉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	10
8月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	
9月	電場	クーロンの法則 電場 静電誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	12
10月	電場	コンデンサー コンデンサー回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	16

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	電流と磁場	電流が作る磁場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	16
12月	電磁誘導と電磁波	電磁誘導 ローレンツ力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	10
1月	電子と光	トムソンの実験 光の粒子性 光の波動性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	12
2月	原子と原子核	水素のスペクトル 原子核	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	16

	指導内容	科目物理の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	物理学が築く未来	宇宙に見る運動の法則 ロボットと暮らす、人間の未来 宇宙に開かれた2つの窓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考査</li> <li>・ 提出物</li> <li>・ 授業態度</li> </ul>	12

府中高等学校 令和5年度 教科：理科 科目：化学 年間授業計画

教科：理科 科目：化学基礎・化学 単位数：4単位

対象学年組：第3学年 必修選択者

教科担当者：

使用教科書：改訂 化学（東京書籍）、化学基礎（東京書籍）

使用教材：新リポートノート有機化合物（浜島書店）、チェック&演習 化学、化学基礎（数研出版）

	指導内容	科目「化学基礎・化学」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 ・単糖類・二糖類  ・多糖類  ・アミノ酸	始業式・オリエンテーション  ・天然高分子の中で、「糖」とはどのような構造をもち、どのような性質があるのか理解する。 ・基本的な単糖の構造を確認し、単糖から二糖類ができていていることを理解する。  ・デンプンの構造を確認し、構造上の違いから分類でき、ヨウ素デンプン反応の呈色に違いが出ることを理解する。 ・セルロースの構造を確認し、水素結合が多いために安定した構造をとっていることを理解する。  ・アミノ酸の基本的な構造から、双性イオンのできかたを理解する。 ・代表的なアミノ酸の構造を確認する。 ・アミノ酸の水中での平衡を確認し、等電点とは何かを理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
5月	・タンパク質  ・核酸	・タンパク質の一次構造から四次構造までの構造を、結合とともに理解する。 ・タンパク質の反応を、反応の原因とともに理解する。  ・核酸を構成する塩基の構造を理解する。 ・DNAとRNAの構造の違い、役割の違いを理解する。  中間考査	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
6月	・合成繊維  ・合成樹脂、ゴム  4編 無機物質 2章 非金属元素の単体と化合物  ・水素と希ガス ・ハロゲンとその化合物	・合成繊維のできかたを、結合のしかたの違いから理解する。  ・合成樹脂にはどのようなものがあるのか、それぞれの特徴と利点を理解する。 ・天然ゴムの構造を確認し、ゴムの硬さは何が原因で変わるのかを理解する。 ・合成ゴムの種類を特徴を確認し、それぞれの利点を構造の違いから理解する。  ・水素とその化合物の特徴や製法、化合物を、水素原子のもつ性質から理解する。 ・ハロゲン元素の単体、化合物の特徴を製法とセットで理解する。  期末考査	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	

	指導内容	科目「化学基礎・化学」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸素・硫黄とその化合物</li> <li>・窒素・リンとその化合物</li> <li>・炭素・ケイ素とその化合物</li> <li>・気体の製法と性質</li> <li>・無機物質の実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸化物の分類（酸性酸化部厚、塩基性酸化物、両性酸化物）の分類のしかたを理解する。</li> <li>・二酸化硫黄、硫酸などの代表的な硫黄化合物を、特徴と製法セットで理解する。</li> <li>・アンモニアなどの代表的な窒素化合物を、実験的製法、工業的製法のどちらも、製法の注意点とセットで理解する。</li> <li>・炭素の同素体の化学的性質の違いを理解する。</li> <li>・ケイ素の単体、二酸化ケイ素の構造の特徴を結合とからめて理解する。</li> <li>・様々な気体の製法と捕集の仕方を、気体の性質から判断できるようになる。</li> <li>・1学期に学習した無機物質の特徴を、実験で確かめる。</li> </ul> <p>終業式</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt;</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> <li>&lt;思考・判断&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> <li>・実験レポート</li> <li>&lt;知識・理解&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul>	
8月				
9月	<p>4編 無機物質 3章 典型金属元素の単体と化合物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルカリ金属とその化合物</li> <li>・2族元素とその化合物</li> <li>・12族・13族元素とその化合物</li> <li>・スズ・鉛とその化合物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンモニアソーダ法を、各段階の化学反応式とともに理解する。</li> <li>・炎色反応の復習をして、アルカリ金属、アルカリ土類金属の判別ができるようになる。</li> </ul> <p>文化祭</p> <p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12族、13族元素の特徴を製法とともに理解する。</li> <li>・スズ・鉛とその化合物の特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt;</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> <li>&lt;思考・判断&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> <li>&lt;知識・理解&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul>	
10月	<p>4編 無機物質 4章 遷移元素の単体と化合物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移元素と錯イオン</li> <li>・銅・銀とその化合物</li> <li>・鉄・クロム・マンガンとその化合物</li> <li>・金属イオンの反応と分離</li> <li>・無機物質と人間生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錯イオンとはどのようなもので、どのように表していくのかを理解する。</li> <li>・銅・銀の単体、化合物の特徴と製法を理解する。</li> <li>・鉄の工業的製法を理解する。</li> <li>・金属イオンの反応から、混ざり合った金属イオンを分離できるようになる。</li> <li>・無機物質が人間生活にどのように利用されているのかを知る。</li> </ul> <p>中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt;</li> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> <li>&lt;思考・判断&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> <li>&lt;知識・理解&gt;</li> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul>	

	指導内容	科目「化学基礎・化学」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	・入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テスト対策のワークを解き、実践力を高めていく。</li> <li>・問題演習とともに、化学基礎などの復習をして知識の定着をはかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> </ul> </li> <li>&lt;思考・判断&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> <li>&lt;知識・理解&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> </ul>	
12月	・入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高めていく。</li> <li>期末考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> </ul> </li> <li>&lt;思考・判断&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> <li>&lt;知識・理解&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> </ul>	
1月	・入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;関心・意欲・態度&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組み</li> <li>・提出物</li> </ul> </li> <li>&lt;思考・判断&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> <li>&lt;知識・理解&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習問題プリント</li> </ul> </li> </ul>	
2月				

指導内容	科目「化学基礎・化学」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

府中高等学校 令和5年度 教科：理科 科目：化学 年間授業計画

教科：理科 科目：化学 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 自由選択者

教科担当者：

使用教科書：改訂 化学（東京書籍）、化学基礎（東京書籍）

使用教材：新レポートノート有機化合物（浜島書店）、チェック&演習 化学、化学基礎（数研出版）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	6編 高分子化合物 1章 天然高分子化合物 ・単糖類・二糖類	始業式・オリエンテーション  ・天然高分子の中で、「糖」とはどのような構造をもち、どのような性質があるのか理解する。 ・基本的な単糖の構造を確認し、単糖から二糖類ができていていることを理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
5月	・多糖類  ・アミノ酸	・デンプンの構造を確認し、構造上の違いから分類でき、ヨウ素デンプン反応の呈色に違いが出ることを理解する。 ・セルロースの構造を確認し、水素結合が多いために安定した構造をとっていることを理解する。 ・アミノ酸の基本的な構造から、双性イオンのできかたを理解する。 ・代表的なアミノ酸の構造を確認する。 ・アミノ酸の水中での平衡を確認し、等電点とは何かを理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
6月	・タンパク質  ・核酸  ・合成繊維  ・合成樹脂、ゴム	・タンパク質の一次構造から四次構造までの構造を、結合とともに理解する。 ・タンパク質の反応を、反応の原因とともに理解する。  ・核酸を構成する塩基の構造を理解する。 ・DNAとRNAの構造の違い、役割の違いを理解する。  ・合成繊維のできかたを、結合のしかたの違いから理解する。  ・合成樹脂にはどのようなものがあるのか、それぞれの特徴と利点を理解する。 ・天然ゴムの構造を確認し、ゴムの硬さは何が原因で変わるのかを理解する。 ・合成ゴムの種類の特徴を確認し、それぞれの利点を構造の違いから理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
		期末考査		

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	4編 無機物質 2章 非金属元素の単体と化合物  ・水素と希ガス ・ハロゲンとその化合物	・水素とその化合物の特徴や製法、化合物を、水素原子のもつ性質から理解する。 ・ハロゲン元素の単体、化合物の特徴を製法とセットで理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント	
	・酸素・硫黄とその化合物 ・窒素・リンとその化合物  ・炭素・ケイ素とその化合物 ・気体の製法と性質  ・無機物質の実験	・酸化物の分類（酸性酸化部厚、塩基性酸化物、両性酸化物）の分類のしかたを理解する。 ・二氧化硫、硫酸などの代表的な硫黄化合物を、特徴と製法セットで理解する。  ・炭素の同素体の化学的性質の違いを理解する。 ・ケイ素の単体、二酸化ケイ素の構造の特徴を結合とからめて理解する。 ・様々な気体の製法と捕集の仕方、気体の性質から判断できるようになる。  終業式	<知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
8月				
9月	4編 無機物質 3章 典型金属元素の単体と化合物  ・アルカリ金属とその化合物 ・2族元素とその化合物	・アンモニアソーダ法を、各段階の化学反応式とともに理解する。 ・炎色反応の復習をして、アルカリ金属、アルカリ土類金属の判別ができるようになる。  文化祭  体育祭	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
	・12族・13族元素とその化合物 ・スズ・鉛とその化合物	・12族、13族元素の特徴を製法とともに理解する。 ・スズ・鉛とその化合物の特徴を理解する。		
10月	4編 無機物質 4章 遷移元素の単体と化合物  ・遷移元素と錯イオン ・銅・銀とその化合物	・錯イオンとはどのようなもので、どのように表していくのかを理解する。 ・銅・銀の単体、化合物の特徴と製法を理解する。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント	
	・鉄・クロム・マンガンとその化合物 ・金属イオンの反応と分離  ・無機物質と人間生活	・鉄の工業的製法を理解する。 ・金属イオンの反応から、混ざり合った金属イオンを分離できるようになる。  ・無機物質が人間生活にどのように利用されているのかを知る。  中間考査	<知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	・入試問題演習	・共通テスト対策のワークを解き、実践力を高めていく。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
12月	・入試問題演習	・共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高めていく。  期末考査	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・定期考査 ・演習問題プリント  <知識・理解> ・定期考査 ・演習問題プリント	
1月	・入試問題演習	・共通テストを中心とした入試問題を解き、実践力を高めていく。	<関心・意欲・態度> ・授業への取り組み ・提出物  <思考・判断> ・演習問題プリント  <知識・理解> ・演習問題プリント	
2月				

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

府中高等学校 令和5年度 教科 理科 科目 自由選択 生物基礎 年間授業計画

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2単位

対象学年組：第3学年

教科担当者：

使用教科書：(改訂版 生物基礎(数研出版) )

使用教材：(ニューステージ生物図表(浜島書店) つかむ生物基礎 )

	指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
5月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
6月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6

	指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
8月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
9月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
10月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6

	指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
12月	問題演習	・入試問題の演習	・過去問の出来 ・模試の出来	6
1月				
2月				

指導内容	科目生物基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

府中高等学校 令和5年度 教科 理科 科目 必修選択 生物 年間授業計画

教科：理科 科目：生物 単位数：4単位

対象学年組：第3学年)

教科担当者：

使用教科書：(改訂版 生物(数研出版) )

使用教材：(ニューステージ生物図表(浜島書店)、エクセル生物基礎+生物(実教出版)) )

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	細胞と分子  代謝 同化	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物体を構成する主な物質の特徴</li> <li>タンパク質の立体構造と性質</li> <li>細胞や生体膜の構造</li> <li>細胞膜を介した物質輸送と情報伝達のしくみ</li> <li>酵素などとしてのタンパク質の働き</li> <li>光合成の過程</li> <li>光合成細菌と化学合成細菌</li> <li>植物・動物の窒素同化</li> <li>発酵の過程</li> <li>アルコール発酵と乳酸発酵</li> <li>筋肉における解糖</li> <li>呼吸の過程</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査</li> <li>提出物</li> <li>授業態度</li> </ul>	10
5月	代謝 異化  遺伝情報の発現	<ul style="list-style-type: none"> <li>光合成の過程</li> <li>光合成細菌と化学合成細菌</li> <li>植物・動物の窒素同化</li> <li>発酵の過程</li> <li>アルコール発酵と乳酸発酵</li> <li>筋肉における解糖</li> <li>呼吸の過程</li> <li>DNAの半保存的複製</li> <li>岡崎フラグメント</li> <li>タンパク質合成</li> <li>コドン表とアミノ酸配列</li> <li>突然変異</li> <li>調節遺伝子と調節タンパク質の働き</li> <li>ラクトースオペロン</li> <li>遺伝子組換えのしくみ</li> <li>PCR法、電気泳動法、塩基配列の解析法</li> <li>バイオテクノロジーの応用と課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査</li> <li>提出物</li> <li>授業態度</li> </ul>	15
6月	生殖と発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>無性生殖と有性生殖</li> <li>性染色体</li> <li>減数分裂</li> <li>連鎖と組換え</li> <li>染色体地図</li> <li>動物の配偶子の形成と受精の過程</li> <li>動物の卵割の特徴</li> <li>ウニとカエルの初期発生</li> <li>動物における胚葉の分化</li> <li>動物の発生における形態形成のしくみ</li> <li>植物の発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査</li> <li>提出物</li> <li>授業態度</li> </ul>	15

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	生物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の環境応答</li> <li>・動物の環境応答</li> <li>・動物の行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考查</li> <li>・提出物</li> <li>・授業態度</li> </ul>	15
8月	生態と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個体群と生物群集</li> <li>・生態系の物質生産</li> <li>・生態系と生物多様性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考查</li> <li>・提出物</li> <li>・授業態度</li> </ul>	15
9月	生物の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化のしくみ</li> <li>・生物の起源と生物の変遷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考查</li> <li>・提出物</li> <li>・授業態度</li> </ul>	15
10月	生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の分類の変遷と系統</li> <li>・生物の系統関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考查</li> <li>・提出物</li> <li>・授業態度</li> </ul>	15

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	問題演習	・入試問題の演習	・ 考査 ・ 提出物 ・ 授業態度	15
12月	問題演習	・入試問題の演習	・ 考査 ・ 提出物 ・ 授業態度	15
1月				
2月				

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月			

府中等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：体育 単位数： 3単位

対象学年組：第3学年1組～7組（男子）

教科担当者：

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

使用教材：（ステップアップ高校スポーツ ）

	指導内容	科目「体育男子」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	オリエンテーション	体育の授業に対する心構え、体育施設の使用の仕方、安全・事故防止に対する注意喚起。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	9
	バスケットボール	バスケットボールの応用技能の習得及び実践		
	バレーボール	状況に応じてパスやトス、アタックなどのボールをコントロールすることができる。		
	ソフトボール	ソフトボールの基本的技能の復習をする。		
5月	バスケットボール	バスケットボールの応用技能の習得及び実践	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	9
	バレーボール	状況に応じてパスやトス、アタックなどのボールをコントロールすることができる。		
	ソフトボール	ソフトボールの応用技能である投球・フリー打撃・投内連係・外野返球・ベースランニング投を身につけ、楽しく・安全にプレーができるようになる。		
6月	バスケットボール	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	12
	バレーボール	状況に応じたボール操作で三段攻撃を用いてゲームをすることができる。スキルテストを実施する。		
	ソフトボール	試合の運営、審判法、安全管理の理解と試合の実施。スキルテストを実施する。		
	体力テスト			
7月	バスケットボール	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	6
	バレーボール	状況に応じたボール操作で三段攻撃を用いてゲームをすることができる。		
	ソフトボール	試合の運営、審判法、安全管理の理解と試合の実施。		
	体力テスト			
8月				
9月	アルティメット	アルティメットの基本的技能の習得とミニゲーム。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	10
	卓球	卓球の基本技能とルールを復習する。		
	サッカー・体づくり運動	サッカーの基本的技能の習得とミニゲーム。		
10月	アルティメット	アルティメットの基本的技能の習得とミニゲーム。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	10
	卓球	シングルスゲームのルールの確認とシングルスゲームの実施。		
	サッカー・体づくり運動	サッカーの基本的技能の習得とミニゲーム。		
11月	アルティメット	アルティメットの基本技能、応用技能の確認とディスクコントロール。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	12
	卓球	シングルスゲームのルールの確認とシングルスゲームの実施。		
	サッカー・体づくり運動	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。		
12月	アルティメット	アルティメットの応用技能の確認とディスクコントロール。スキルテストを実施する。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況、スキルテスト	9
	卓球	ダブルスのルールの確認とダブルスゲーム。スキルテストを実施する。		
	サッカー・体づくり運動	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。		
1月	アルティメット	アルティメットの応用技能の確認とディスクコントロール。ゲームの実施。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	6
	卓球	ダブルスのルールの確認とダブルスゲーム。スキルテストを実施する。		
	サッカー・体づくり運動	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。		
	体育理論	「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。		
2月				
3月				

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教 科：保健体育 科 目：体育 単位数： 3単位

対象学年組： 第3学年1組～7組（女子）

教科担当者：

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

使用教材：（ステップアップ高校スポーツ ）

	指導内容	科目「体育女子」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	オリエンテーション	体育の授業に対する心構え、体育施設の使用の仕方、安全・事故防止に対する注意喚起。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	9
	サッカー	サッカーの基本的技能の習得とミニゲーム。		
	ハンドボール	ハンドボールの基本的技能の習得とミニゲーム。		
	バレーボール	状況に応じてパスやトス、アタックなどのボールをコントロールすることができる。		
5月	サッカー	サッカーの基本的技能の習得とミニゲーム。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	9
	ハンドボール	ハンドボールの基本的技能の習得とミニゲーム。		
	バレーボール	状況に応じてパスやトス、アタックなどのボールをコントロールすることができる。		
6月	サッカー	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。スキルテストを実施する。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	12
	ハンドボール	ハンドボールの基本技能、応用技能の確認とボールコントロール。スキルテストを実施する。		
	バレーボール	状況に応じたボール操作で三段攻撃を用いてゲームをすることができる。スキルテストを実施する。		
	体力テスト			
7月	サッカー	チームで作戦を立て、レベルの高いゲームをできるようにする。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	6
	ハンドボール	ハンドボールの基本技能、応用技能の確認とボールコントロール。		
	バレーボール	状況に応じたボール操作で三段攻撃を用いてゲームをすることができる。		
	体力テスト			
8月				
9月	アルティメット	アルティメットの基本的技能の習得とミニゲーム。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	10
	ソフトボール・体づくり運動	ソフトボールの基本的技能の復習をする。		
	卓球	卓球の基本技能とルールを復習する。		
10月	アルティメット	アルティメットの基本的技能の習得とミニゲーム。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	10
	ソフトボール・体づくり運動	ソフトボールの応用技能である投球・フリー打撃・投内連係・外野返球・ベースランニング投を身につけ、楽しく・安全にプレーができるようになる。		
	卓球	シングルスゲームのルールの確認とシングルスゲームの実施。		
11月	アルティメット	アルティメットの基本技能、応用技能の確認とディスクコントロール。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	12
	ソフトボール・体づくり運動	ソフトボールの応用技能である投球・フリー打撃・投内連係・外野返球・ベースランニング投を身につけ、楽しく・安全にプレーができるようになる。		
	卓球	シングルスゲームのルールの確認とシングルスゲームの実施。		
12月	アルティメット	アルティメットの応用技能の確認とディスクコントロール。スキルテストを実施する。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況、スキルテスト	9
	ソフトボール・体づくり運動	試合の運営、審判法、安全管理の理解と試合の実施。スキルテストを実施する。		
	卓球	ダブルスのルールの確認とダブルスゲーム。スキルテストを実施する。		
1月	アルティメット	アルティメットの応用技能の確認とディスクコントロール。ゲームの実施。	関心・意欲・態度、思考・判断、知識・理解を基本とし、学習の到達度を適切に評価する。出席状況	6
	ソフトボール・体づくり運動	試合の運営、審判法、安全管理の理解と試合の実施。		
	卓球	ダブルスのルールの確認とダブルスゲーム。		
	体育理論	「豊かなスポーツライフの設計のしかた」を理解させる。		
2月				
3月				

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目: コミュニケーション英語Ⅲ 対象:(第3学年1組 ~7組) 4単位

教科担当者:

使用教科書: Perspective English Communication Ⅲ(第一学習社)

使用教材: 英単語ターゲット1900(旺文社)、共通テストリスニング分野別 10(EMILE出版)、Cutting Edge Green(EMILE出版)

	指導内容	科目「コミュニケーション英語Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	Lesson1,2,3	長文演習を通じて読解力、問題への対応力を育成	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	10
		リスニング力を身につけさせる。		
5月	Lesson4,5,6	長文演習を通じて読解力、問題への対応力を育成	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	10
		リスニング力を身につけさせる。		
6月	Lesson 7,8,9	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	14
		リスニング力を身につけさせる。		
7月	Lesson 10	期末考査	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	4
		語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。		
		リスニング力を身につけさせる。		
8月	Lesson 11,12	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	
		リスニング力を身につけさせる。		
		共通テスト対策		
		終業式・始業式		
9月	Cutting Edge 4,5,6	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	10
		リスニング力を身につけさせる。		
		共通テスト対策		
10月	Cutting Edge 7,8,9	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	14
		リスニング力を身につけさせる。		
		共通テスト対策		
		中間考査・校外学習		
11月	Cutting Edge 10,11,12	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	14
		リスニング力を身につけさせる。 共通テスト対策。		
12月	Cutting Edge 13,14	期末考査	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	8
		語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。		
		リスニング力を身につけさせる。 共通テスト対策。		
		終業式		
1月	Cutting Edge15	語彙力を高め「英語を正しく読む力」を養成する。	a. 授業に対する意欲/b. 発表/c. 課題等の提出/d. 小テスト・定期考査等	2
		リスニング力を身につけさせる。 共通テスト対策。		
		自宅学習		
2月				

府中等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(英語表現Ⅱ) 対象:第(3)学年(1)組～(7)組 (2)単位

教科担当者:

使用教科書:(Atlantis English Expression 2 Cheers)

使用教材:(VINTAGE、FINAL STEP[いづな書店])

	指導内容	科目「英語表現Ⅱ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月		始業式・オリエンテーション		5
	不定詞 動名詞	名詞用法、形容用法、副詞用法の不定詞を含んだ文が理解できる。原形不定詞の用法が理解できる。 動名詞の基本用法が理解できる。動名詞の意味上の主語を含んだ文が理解できる。動名詞を用いた慣用表現が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」	
5月	分詞	名詞を修飾する分詞、補語の働きをする分詞が理解できる。分詞構文が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	7
	関係詞	関係代名詞の基本用法が理解できる。関係副詞の基本用法が理解できる。		
6月	関係詞	関係代名詞のwhatが理解できる。目的格の関係代名詞の省略が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」	7
	接続詞	様々な接続詞の基本用法が理解できる。		
	前置詞	様々な前置詞の基本用法が理解できる。		
	比較	原級比較の基本と倍数表現が理解できる。比較級表現の基本が理解できる。		
7・8月		入試でよく出題されるイディオムが英文の中で理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	5
		期末考査		
	イディオム	終業式		
		始業式		
9月	疑問文と語順	疑問詞の基本的用法が理解できる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」	7
	疑問文と語順	間接疑問と語順が理解できる。		
	否定、省略、強調	部分否定と全体否定が理解できる。		
	否定、省略、強調	強調構文が理解できる。		
10月	時制の一致と語法	平叙文と命令文の語法の転換ができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	7
	動詞の語法	疑問文の語法の転換ができる。		
	動詞の語法	不定詞、動名詞のどちらを目的語にとるか理解できる。目的語が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞を理解することができる。 自動詞、他動詞を見分けることができる。have+O+done / have+O+doを含む文が理解できる。		
	共通テスト対策	品詞によってアクセントが異なる語、紛らわしい母音、カタカナ語のアクセントの位置や発音を問う問題に答えることができる。		
11月	共通テスト対策	品詞によってアクセントが異なる語、紛らわしい母音、カタカナ語のアクセントの位置や発音を問う問題に答えることができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」	9
	共通テスト対策	既習の文法知識を活用して、様々な形式の文法問題(空所補充、対話問題空所補充、語句整序等)に答えることができる。		
	共通テスト対策	既習の文法知識を活用して、様々な形式の文法問題(空所補充、対話問題空所補充、語句整序等)に答えることができる。		
	共通テスト対策	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。		
12月		語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」、「単語テスト」、「定期考査」	5
		期末考査		
	1年間総復習	期末考査		
		終業式		
11月	共通テスト対策	語句定義、発言要約、文章空所補充、文整序、文補充等の問題を解き、問題の形式に慣れるとともに、与えられた時間で問題を解くことができる。	「興味・関心」、「意欲・態度」、「知識・理解」「学習プリント」	1
2月				
3月		学年末考査・卒業式予行・卒業式		
		修了式		

府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科:(英語) 科目:(必修選択 英語表現Ⅰ) 対象: 第(3)学年 (2)単位

教科担当者:

使用教科書:「英検総合英語トレーニング 2級」

使用教材:

	指導内容	科目「英語表現Ⅰ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
4月	家庭学習	1年次の文法事項の総復習 英語学習のガイダンス	課題提出状況などを総合的に評価する。	4
5月	家庭学習	2年次の文法事項の総復習 外国人講師とのコミュニケーション練習 基礎的文法ドリル	課題提出状況などを総合的に評価する。	8
6月	英検合格のための総合学習	文法チェック①未来完了・過去完了進行形 文法チェック②関係詞 文法チェック③分詞・不定詞 文法チェック④劣勢比較・動名詞	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	10
7月	英検合格のための総合学習	文法チェック⑤仮定法 文法チェック①～⑥のまとめ練習問題① 文法チェック①～⑥のまとめ練習問題② 文法チェック①～⑥のまとめ練習問題③	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	4
9月	英検合格のための総合学習	長文読解問題① 長文読解問題② 長文読解問題③ 長文読解問題④ 長文読解問題⑤ 長文読解問題⑥	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	8
10月	英検合格のための総合学習	ライティング練習① ライティング練習② ライティング練習③ ライティング練習④	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	8
11月	英検合格のための総合学習	リスニング練習① リスニング練習② リスニング練習③ リスニング練習④	定期考査・課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	8
12月	英検合格のための総合学習	実践総合テスト① 実践総合テスト②	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	8
1月	英検合格のための総合学習	実践総合テスト③ 実践総合テスト④ 実践総合テスト⑤	課題提出状況・単語テスト・授業への取り組み等を総合的に評価する。	6
2月				
3月				

府中高等学校 令和5年度 教科英語 科目 選択コミュニケーション英語Ⅱ(標準) 年間授業計画

教科: 英語 科目: コミュニケーション英語Ⅱ 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年1組~7組

教科担当者:

使用教科書: ( Aim High Vol.2 )

使用教材: ( 上記問題集、参考書、辞書、補充プリント )

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<p>授業オリエンテーション 学習の進め方・年間指導計画の確認 品詞・文型の確認テスト</p> <p>Unit 1 テーマ イルカの感情 近畿大 【主な文法項目】 知覚動詞+O doing、代動詞do、ディスコースマーカーなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	
5・6・7月	<p>Unit 2 テーマ サイエンス・カフェ 東京経済大 【主な文法項目】 have a hard time doing、get O done、ディスコースマーカーなど</p> <p>Unit 3 テーマ クレヨラ 神戸学院大 【主な文法項目】 形容詞availableの後置修飾、with OC、ディスコースマーカーなど</p> <p>Unit 4 テーマ ダイエット 広島国際大 【主な文法項目】 allow O to do、so that S can do、ディスコースマーカーなど</p> <p>Unit 5 テーマ エミール・ザトベック 広島国際大 【主な文法項目】 whatever、to have done、ディスコースマーカーなど</p> <p>期末考査</p> <p>Unit 6 テーマ 標準英語の必要性 東邦大 【主な文法項目】 make O C、the way S V、ディスコースマーカーなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>・英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>・物語文と論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 ・ 1 0 月	<p>Unit 7 テーマ 高齢ペットの引き取り 成蹊大 【主な文法項目】 as any as、文修飾の副詞、ディスコースマー カーなど</p> <p>Unit 8 テーマ 産業革命 広島国際大 【主な文法項目】 動詞を修飾するdo、by the ytime S V、ディス コースマーカーなど</p> <p>Unit9 テーマ ミツバチの集団的防御 岡山理科大 【主な文法項目】 leave O C、分詞構文のbeingの省略、ディス コースマーカーなど</p> <p>Unit10 テーマ 楽器の歴史 中部大 【主な文法項目】 関係代名詞の直後にSVが省略されている 文、分詞句の後置修飾が二重になっている 文、ディスコースマーカーなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	
1 0 ・ 1 1 月	<p>Unit 11 テーマ 過保護な親 東京理科大 【主な文法項目】 &lt;、分詞構文&gt;&lt;、which ~&gt;、ディスコースマー カーなど</p> <p>中間考査</p> <p>Unit 12 テーマ 犬のパスポート 法政大 【主な文法項目】 It is ~ that …の強調構文、仮定法完了、ディス コースマーカーなど</p> <p>中間考査</p> <p>Unit 13 テーマ 格安航空会社 東海大 【主な文法項目】 ways that SV、make O do、ディスコースマー カーなど</p> <p>Unit 14 テーマ 人類の進化とおばあさん 学習院大 【主な文法項目】 前置詞+関係代名詞which、&lt;the+比較級、 the+比較級&gt;、ディスコースマーカーなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラグラフごとの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。</li> <li>文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。</li> <li>エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>500語を超える長文を、速く読み、適切に理解することができる。</li> <li>取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 2 月	Unit 15 テーマ 太陽 武蔵大 【主な文法項目】 , one of which、… the size of ～、ディスコース マーカーなど  Unit 16 テーマ 経口免疫療法 星薬科大 【主な文法項目】 those who ～、none of ～、ディスコースマーカー など  入試問題演習(センター演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグラフごとの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。</li> <li>・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。</li> <li>・500語を超える長文を、速く読み、適切に理解することができる。</li> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができていないか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	
12 月	入試問題演習(共通テスト演習)  期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができていないか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	
1 月	入試問題演習(共通テスト演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Evergreen, Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>		

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
2 月				
3 月				

府中高等学校 令和5年度 教科英語 科目 選択コミュニケーション英語Ⅱ(発展) 年間授業計画

教科: 英語 科目: コミュニケーション英語Ⅱ 単位数: 2単位

対象学年組: 第3学年1組～7組

教科担当者:

使用教科書: ( Cutting Edge Blue )

使用教材: ( 上記問題集、参考書、辞書、補充プリント )

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<p>授業オリエンテーション 学習の進め方・年間指導計画の確認 品詞・文型の確認テスト</p> <p>Chapter 1 教育と疾病 (論説文) 東京理科大学 Chapter 2 最後のメッセージ(随筆) 明治学院大学 【主な文法項目】 接続詞・不定詞の形式主語構文・SVOOの理解・ 複合関係副詞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>Vintageなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	4
5 月	<p>Chapter 3 目の大きさと脳の関係 (論説文) 岡山大 Chapter 4 液体燃料問題 (論説文) 鹿児島大 【主な文法項目】 関係代名詞(主格・目的格)・ディスコースマー カーの理解・動名詞を含む慣用表現、挿入句の 処理の仕方など Chapter 5 真重な教訓 (論説文) 関西学院大学 Chapter 6 コークVSペプシ (論説文) 宮城大 【主な文法項目】 SVOC(C=過去分詞)・呼応表現の理解・関係代 名詞の非制限用法・比較の慣用表現など</p> <p>中間考査</p> <p>Chapter 7 国際語としての英語 (論説文) 熊本大 Chapter 8 睡眠の役割 (論説文) 三重大 【主な文法項目】 SVOC(C=過去分詞)・呼応表現の理解・関係 代名詞の非制限用法・比較の慣用表現など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>物語文と論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	8
6 月	<p>Chapter 9 口論と真実 (論説文) 愛知教育大 【主な文法項目】 不定詞(副詞的用法)・分詞構文・make O C/ make O do・比較の慣用表現</p> <p>Chapter 10 オーガニック (論説文) 名古屋市立大 【主な文法項目】 句読法・形式主語構文(that 節)・内容説明・ 疑問文</p> <p>Chapter 11 自動運転車 (論説文) 法政大 【主な文法項目】 分詞構文・倒置文・不定詞(副詞的用法)・関 係副詞など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全文、文構造と修飾関係を明らかにしながら、正しく訳出ができる力を養う。</li> <li>英語で書かれた論説文の論理展開を理解する。</li> <li>エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	8

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	特別時間割 センターもしくは私立大学過去問演習	実際の過去問を使い、演習形式での授業を行う。  1学期で学んだ基礎知識・技能を使い、実際の入試問題での活用法を確認する。	・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視  ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト  ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	2
8月	自主学習 【課題】 Chapter12 AIと仕事 滋賀県立大	1年次より学習してきた文法事項や読解の技能を確認するとともに、志望校の過去問研究を各自行う。		
9月	Chapter 13 行動の背景 (論説文) 弘前大 【主な文法項目】 列挙のディスコースマーカー・不定詞の形容詞的用法・部分否定・疑問詞+to do  Chapter 14 災害と温暖化 (論説文) 広島大 【主な文法項目】 列挙のディスコースマーカー・不定詞の形容詞的用法・部分否定・疑問詞+to do・不定詞の意味上の主語	・パラグラフごとの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。 ・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。 ・論説文における論理展開を想定しながら読み進めることができる。 ・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。 ・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。 ・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。	・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視  ・発問や設問に対して、適切に解答できているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト  ・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト	4

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>Chapter 15 ビッグデータ (論説文) 法政大 【主な文法項目】 関係疑問・仮定法・否定を含む呼応表現・譲歩逆説主張の論理展開・過去完了形</p> <p>Chapter 16 「事実」なるもの (論説文) 岩手大 【主な文法項目】 関係疑問・指示語の理解・仮定法過去・助動詞の(過去形)・強調構文</p> <p>中間考査</p> <p>Chapter 17 ハビタブルゾーン (論説文) 西南学院大学 【主な文法項目】 分詞の後置修飾・比較の慣用表現・関係詞の非制限用法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグラフごとの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。</li> <li>・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。</li> <li>・エッセイと論説文の違いを理解し、書かれている英文の種類に応じて読み方を適切に意識することができる。</li> <li>・500語を超える長文を、速く読み、適切に理解することができる。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答ができているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	6
11 月	<p>Chapter 18 確証バイアス (論説文) 北海道大 【主な文法項目】 with O C (付帯状況)・可能性を表す慣用表現・分詞構文・分詞を含む慣用表現</p> <p>入試問題演習(センター演習)</p> <p>入試問題演習(センター演習)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグラフごとの主張、主題を意識しながら読み進めることができる。</li> <li>・文章全体での論理展開を理解し、主張や主題をつかむことができる。</li> <li>・500語を超える長文を、速く読み、適切に理解することができる。</li> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答ができているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	6
12 月	<p>入試問題演習(センター演習)</p> <p>期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に臨むに当たり適切に予習ができているか(意欲) ※机間巡視</li> <li>・発問や設問に対して、適切に解答ができているか。(理解) ※授業での活動、定期テスト</li> <li>・学習した内容が定着しているか(知識・技能) ※定期テスト</li> </ul>	2

	指導内容	科目コミュニケーション英語Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	入試問題演習(センター演習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の入試問題を用いて、問題解答における時間管理、ペース配分、解答順序など、実際の入試に必要な考え方を身につける。</li> <li>・取り扱われる文法事項について再確認し、理解することができる。</li> <li>・下線部訳、空欄補充、内容一致など、多様な問題の解き方の手順を理解する。</li> <li>・Breakthroughなどの補助教材を用いて、自学自習できる習慣を身につける。</li> </ul>		
2 月				
3 月				

府中高等学校 令和5年度 教科家庭 科目子どもの発達と保育 年間授業計画

教科：家庭 科目：子どもの発達と保育 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～7組

教科担当者：

使用教科書：（子どもの発達と保育 実教出版）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第一章 子どもの発達の特性	始業式・入学式・オリエンテーション	プリント点検、資料整理、意欲	6
		・乳幼児の発達と成長について理解する。		
		・乳幼児の身長と体重、からだの発達について理解する。		
		・乳幼児生理的特徴について理解する。		
5月	第二章子どもの発達過程	・新生児の運動機能とからだ全体の運動について理解する。	プリント点検、資料整理、意欲	6
		中間考査		
		・愛着関係について、自我の芽生えについて理解する。		
6月	第二章子どもの発達過程	・子どもの知的発達について理解する。	プリント点検、資料整理、意欲、実習態度	8
		・子どもの言葉の発達について理解する。		
		・子どもの情緒の発達について理解する。		
7月	一学期のまとめ	・期末テスト	プリント点検、資料整理、意欲、実習態度、テスト	4
		・認知能力の発達について理解する。		
		終業式		

	指導内容	科目子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	第三章子どもの生活	・ 保育園実習	プリント点検、資料整理、 意欲、実習態度	6
		・ 基本的生活習慣の習得について理解する。		
		・ 子どもの食事、ほ乳栄養と人工栄養について理解する。		
		・ 離乳の進め方と食事行動の発達について理解する。		
		・ 子どもに必要な遊具、遊び、児童文化財について理解する。		
10月	第三章子どもの生活	・ 保育園実習	プリント点検、資料整理、意 欲、実習態度、作品提出	8
		・ 子どもの健康管理について理解する。		
		・ 事故の防止と応急処置について理解する。		
		中間考査		
11月	第四章子どもの保育	・ 保育園実習	プリント点検、資料整理、意 欲、実習態度、作品提出	8
		・ 保育の目的と目標		
		・ さまざまな保育の場		
		・ 保育者の役割について理解する。		
12月	第四章子どもの保育	期末考査	プリント点検、資料整理、意 欲、作品提出、テスト	4
		・ 2学期の振り返り		
		終業式		

	指導内容	科目子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
1 月	第五章子どもの福祉と子育て支援	子どもの福祉、子育て支援について理解する。	プリント点検、資料整理、 意欲、実習態度	4
2 月				
3 月				

# 府中高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科 科：情報 科 目：情報の科学 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 必修選択

教科担当者：

使用教科書：（「情報の科学 新訂版」 実教出版 ）

使用教材：（「30時間でマスター Excel2016」 実教出版 ）

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 情報とコンピュータ	情報と情報社会の特徴、情報社会でのモラルと責任	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		図形のデジタル化、デジタル表現、図形の数値化などの表現		2
		カラー画像について、画像の画素数 数値化 画像のサイズ		2
5月	第1章 情報とコンピュータ	アナログとデジタル デジタル化 文字の表し方、音声のデジタル化、画像のデジタル化	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		エクセルについての使い方実習 30時間でマスター Excel2016」 実教出版		2
6月	第3章 アルゴリズムとプログラム	アルゴリズムの基本構造（順次・選択・繰り返し）を実習を通して理解し、プログラミングについての興味・関心を持たせる。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		「数あてゲーム」のプログラムの作成と実行、さらにゲーム性を高めるためのプログラム改良について理解する。		2
		操作手順の記録（手続きの自動化）と記録された操作の活用について習得する。		2
		人間がパズルを解くための手順とコンピュータでパズルを解く手順を比較しながら考える。		2
		パズルを解くプログラムの作成を通して、複雑な処理も基本的なアルゴリズムの組み合わせであることを理解する。		2

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	第1章 情報と コンピュータ	パズルを解くプログラムの作成を通して、複雑な処理も基本的なアルゴリズムの組み合わせであることを理解する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 定期考査 課題	2
		パズルを解くプログラムの作成を通して、複雑な処理も基本的なアルゴリズムの組み合わせであることを理解する。		2
		パズルを解くプログラムの作成を通して、複雑な処理も基本的なアルゴリズムの組み合わせであることを理解する。		2
		画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、画像のデジタル化について理解する。		2
	期末考査			
	第1章 情報と コンピュータ	画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、画像のデジタル化について理解する。		2
		終業式		
9月	第1章 情報と コンピュータ	画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、各種ソフトウェアの働きと活用を理解する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		画像処理ソフトウェアやホームページ作成ソフトの実習を通して、各種ソフトウェアの働きと活用を理解する。		2
	第5章 データベース	データベースの概念や形態、特徴について実習を通して理解する。		2
		データベースの概念や形態、特徴について実習を通して理解する。		2
		表計算ソフトのデータベース機能について実習を通して理解する。		2
		表計算ソフトのデータベース関数について実習を通して理解する。	2	
10月	第5章 データベース	表計算ソフトのデータベース機能について実習を通して理解する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		表計算ソフトのデータベース関数について実習を通して理解する。		2
		表計算ソフトを活用したデータベースに関する総合課題を通して、次の問題解決学習につなげる。		2
		中間考査期間		
	第6章 問題解決 計算ソフト利用	(表棒グラフと折れ線グラフによる複合グラフを作成し、問題分析するための表現手段を習得する。		2

	指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	第6章 問題解決 計算ソフト利用	順位づけ関数とn番目に大きい値・小さい値を求める課題の解決手法を習得する。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		校内模試		
		(表 必要なデータを列(縦)または行(横)方向に検索して表示させる関数を用いた問題解決手法を習得する。		2
		期末考査		2
12月	第6章 問題解決 計算ソフト利用	期末考査期間	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 定期考査 課題	
		文字列操作する関数を活用した課題解決学習に取り組む。		2
		(表 条件を指定してデータの集計を行う関数を用いた課題解決手法を習得する。		2
		複数の条件を指定してデータの集計を行う関数を用いた課題解決手法を習得する。		2
1月	第8章 セキュリティ	パスワードや認証など、情報セキュリティを高めるものについて考える。	興味・関心 意欲・態度 知識・理解 ワークシート 課題	2
		シーザー暗号の仕組みを利用し、表計算ソフトによる暗号作成ツールを作る。		2
		卒業考査		
2月				

指導内容	科目情報の科学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
	学年末考査・卒業式予行・卒業式		
	修了式		

3  
月